

国語科学習指導案

単元名「タイムスリップして、和歌の作者と語らおう～いにしへの心を想像して～」

教材名「君待つと——万葉・古今・新古今」〔学指要領：知(3)ア、思C(1)ウ〕

令和〇年〇〇月〇〇日(〇) 第〇校時 3年〇組教室

〇〇立〇〇中学校 3年〇組 〇名 指導者 〇〇 〇〇

I 単元の構想

1 単元の目標及び生徒の実態

	目 標	生徒の実態
知識及び技能	・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。(3)ア	・古典作品の特徴を捉えながら作品の世界を実感し、情景を具体的に想像しながら古典作品に親しむことができる。また、友達の意見を手がかりにすることで、一層情景を具体的に想像することができる。
思考力、判断力、表現力等	・和歌の表現の仕方について評価することができる。C(1)ウ	・作品の歴史的背景や作者の生き方などを調べることを通して、作品の中の場面や人物像に共感し、親しみを持つことができる生徒が多い。
学びに向かう力、人間性等	・言葉がもつ価値を認識するとともに、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとしている。	・観点を明確にして俳句や詩の言葉を比較し、その効果に気付くことができる。中には、表現の違いによって印象や伝わる内容が違ってくことを評価できる生徒もいる。

2 評価規準

知識・技能	○歴史的背景やそれぞれの和歌の特徴を捉えながら読むことで、和歌の世界に親しんでいる。
思考・判断・表現	○「読むこと」において、和歌の表現の仕方について評価している。
主体的に学習に取り組む態度	○進んで和歌の表現の仕方について評価し、学習の見通しを持ってインタビュー記事を書こうとしている。

3 指導及び評価の計画 ※別紙参照

4 言語活動の価値

本単元において、生徒は自分の好きな和歌を選び、選んだ和歌の作者に対する架空のインタビューに基づいて作成したインタビュー記事を友達と読み合う。

和歌が詠まれた世界にタイムスリップするという設定の中で、和歌を読んだり、和歌の歴史的背景を調べたりすることは、和歌の内容や詠まれた時代について理解したり、想像したりすることになり、和歌の世界に親しむことにつながる。

架空のインタビューの内容を記事にまとめることは、和歌に対する問いを投げかけ、その答えを考えるというやり取りの中で、和歌に対する理解を深めたり、和歌に用いられている言葉のよさに気付いたりすることにつながる。また、和歌が詠まれた歴史的背景を理解したり、和歌に用いられた言葉を根拠にして情景を想像したりすることとなり、その意味や効果を考えたり、評価したりすることにもつながる。

このように、過去にタイムスリップして、1000年前の人にインタビューを行うという活動を通して、生徒は古典作品に対する関心を高め、一層親しもうとする態度を育むことができる。

II 本時の学習（4／5）

1 ねらい 自分の好きな和歌について前時に調べたことから、興味を持ったことや考えを深めたいことをさらに調べたり、友達と意見交流をしたりする活動を通して、和歌の表現の仕方について、根拠を挙げて表現の意味や効果を考え、評価することができるようにする。

2 展開

<p>主な学習活動 予想される生徒の意識〔S〕</p>	<p>○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。（5分）</p> <p>S：前時までにいろいろと調べてみたけれど、まだ分からないことや疑問に思ったことがあるから、もっと調べたり、友達と一緒に考えたりしたいな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><めあて></p> <p>さらに作者へ尋ねたいことを基に、表された情景や思い、言葉へのこだわりを具体的に想像し、インタビュー記事を書き進めよう。</p> </div>	<p>○前時の学習を想起し、課題の解決状況を把握できるように、前時までに調べたことやインタビューメモを確認するよう促す。</p> <p>○表現の意味や効果に対する問題意識を持てるように、前時までに調べたことから、その言葉や表現が用いられている理由を問いかける。</p> <p>○本時追究することの足がかりを得られるように、前時までのインタビューメモに記述された、和歌の言葉や表現に関わる問いの例を示しておく。</p>
<p>2 前時で和歌について調べたことから、さらに調べたいことやもっと考えたいことについて、詳しく調べたり、意見交流をしたりする。（40分）</p> <p>S：調べていくうちに、東から昇る太陽と西に傾いている月が想像できるようになったな。友達も同じような想像をしているようだけれど、どの言葉を根拠に考えたのか聞いてみたいな。</p> <p>S：「かえり見すれば」という言葉から、何気なく西側に月を発見したという状況ではないかという、友達の意見に納得できるな。</p> <p>S：でも、なぜ「月傾きぬ」なのだろうか。「沈む」にしなかったのはなぜだろう。</p> <p>S：作者について調べてみたら、軽皇子を太陽、軽皇子の父で若くして亡くなった草壁皇子を月に例えていることが分かって、和歌の言葉の裏側にある軽皇子への思いも考えられたよ。</p> <p>S：友達と、なぜ「月傾きぬ」なのかについて話し合ったことを参考に、インタビュー記事も書き進めていこう。</p>	<p>○叙述から離れて想像している生徒に対しては、言葉に着目できるように、想像の根拠となる言葉や表現を問いかける。</p> <p>○友達の考えに触れ、自分の考えを問い直すきっかけを得られるように、必要に応じていつでも交流できる活動の形態を整えておく。</p> <p>○表現の意味や効果について考えられるように、和歌の言葉を他の言葉に置き換えて比較してみるように助言する。</p> <p>○調べたことや考えたことを整理できるように、インタビューメモもしくはインタビュー記事にまとめていくように促す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆評価項目（思○）</p> <p>学習カードの記述内容から、「和歌の気に入った言葉や表現の仕方について、根拠を挙げて表現の意味や効果を考えているか」を評価する。</p> </div>
<p>3 本時の学習の振り返りをする。（5分）</p>	<p>○本時の学習の成果を実感できるように、具体的に情景や作者の思い、言葉へのこだわりを想像できたことを称賛する。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>S：最初は雄大な情景を詠んだ和歌だと思っていたが、友達が言っていたように、「かえり見すれば」という表現から、太陽を軽皇子に見立て、亡くなった父親が月として西側から何気なく見守っているという情景が思い浮かんできた。また、なぜ「月傾きぬ」なのか、については、草壁皇子は亡くなっているという寂しさを表すために「月傾きぬ」にしたのではないかと考えることができた。次時では、それらを他の友達に伝えられるようにインタビュー記事としてまとめたい。また、他の和歌を選んだ友達のインタビュー記事も読んでみたい。</p> </div>	

(別紙)

3 指導及び評価の計画 (全5時間: 本時第4時)

※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	態
1	・「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」の基礎的な知識を知り、単元の課題をつかむ。(a) (b) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">単元の課題 和歌の時代にタイムスリップして和歌の作者にインタビューし、気に入った言葉や表現の仕方の意味や効果について伝え合おう。</div>			○ ↓
2	・「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」の現代語訳を参考にして、和歌の内容をおおまかに捉える。			↓
3	・自分の好きな和歌について、グループや個人で調べる。	○	○	●
4	・自分の好きな和歌について前時に調べたことから、興味を持ったことや考えを深めたいことをさらに調べたり、友達と意見交流をしたりする。			
5	・自分の好きな和歌について調べたこと、考えたこと、友達の見解を参考にしたことなどから、全体に伝えたいことをインタビュー記事にまとめ、交流する。	●	●	

* 活用するコンテンツ等:

(a) https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005150185_00000 「万葉集」

(b) https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005150063_00000 「古今和歌集」